

運動会、がんばったよ

2019年5月 まつ組

5月18日(土)は、第55回運動会でした。この日に行った玉入れは、普段から遊びとして楽しんだり、いくつかのチームが集まって対抗戦をしたりして楽しんで行っていました。3回戦続けてやった結果、まつ組がいる赤チームは1勝2敗という結果のときもありました。6チームで行ったときには、1個差で勝利をのがしたこともありましたが、いつでも「〇〇チーム、すごいね」と笑顔で拍手してあげる赤チームでした。1個差でもいいので、「やったー！」と勝った気持ちを味わわせてあげたいと思っても、思うように玉は入ってくれませんでした。



お部屋で玉入れごっこをしたよ



運動会后、年中対年長

どうしたら入るのか、作戦会議。

「よく見て投げる」「2個一緒に投げる」「近くから投げる」それに対して「遠くから投げる」などいろいろな意見が出ました。それを実践したことで、赤チームだけでやったときには、34個入りました。赤チームはみんなで33名。1人1個入れることを目標にしていたので、このときは大喜び。

運動会当日は、6チームで3回戦。赤チームの結果は、1回目より、2回目。2回目より3回目と増え、3回戦目はわずかの差で2位になりましたが、なんだか子供たちは笑顔。そのうれしい気持ちは私にも

伝わり、「さっきより、たくさん入ったね。やったー！」と思わず子供たちとたくさん入れられた喜びを分かち合いました。

そして、運動会の最後の競技の大玉送りに望みました。紅白戦でまつ組がいる白チームは1敗1勝で3回戦目に挑みました。大玉が子供たちの目の前を通った後、勝ちたい気持ちが大きく目覚めたようです。「白、がんばれ」とどの子も大きな声で応援し、ボールの行方を見守っていました。そして、出口からゴールに向かってボールを転がる様子が見えた瞬間、子供たちの表情は固まりました。数mの差でしたが、負けてしまったのです。すると、ニッコリした子が一言。「でも、みんな、がんばったもんね」そのとき、『子供たちはほかのチームと戦っていたのではない。前の自分(達)と戦ったんだ。そして、”僕・私・お友達がんばった”とお互いを認め合っているんだ』と気づかされました。



負けたー。がっかり。

勝敗の結果ではなくクラスのみんなでがんばったことが大切な思い出になったようです。昨日より今日、今日より明日。たくさん入れられるかまだまだ挑戦中です。



楽しかった思い出を描いたり、動いたりして表現して楽しみました。